

ニュージーランド派遣で学んだこと

湧別高校3年 北村 千晴

私は10泊11日で約1週間、ニュージーランドに滞在してきました。初めて日本を出てニュージーランドで過ごした感想は、正直楽しいに尽きます。

ニュージーランドに行く前からとても緊張していて、オークランド国際空港行きの飛行機が遅れてしまうというハプニングもあり不安がどんどん大きくなっていきました。ニュージーランドに着いてからのホームステイ生活も最初は緊張でなかなかうまく話せませんでした。ですが、ホームステイが始まって3日が経った日、お土産を渡すととても喜んでくれてそれから私も嬉しくなって自分から話しかけることも増えました。ホストマザーのご飯はいつも美味しく、食べやすいものでした。ホストファミリーには3人子供がいて色々な遊びをしました。よくやったのはUNOです。ルールが分かっているのでやりやすく、楽しかったです。また、「LABYRINTH」や「千と千尋の神隠し」という映画を見たり、折り紙をしたりしました。折り紙では最初に鶴を折ったのですが、やはり難しいので簡単な紙飛行機などから作った方がいいと感じました。休日にはニュー・ブライトン・ビーチに行き、クライストチャーチでお土産を沢山買いました。ニュー・ブライトン・ビーチは私が今まで見てきた海の中で一番透き通っていて綺麗でした。家に帰ってから、東日本大震災の17日前に起こったクライストチャーチの地震について教えてもらいました。本を見せてもらったのですが、その日行ったり通ったところが崩れている写真が何枚もありました。改めて地震の怖さについても勉強でき、良い経験になったと思います。ホストファミリーのおかげでホームステイを楽しく過ごすことができ、とても感謝しています。

次に、学校ではマオリ文化やバディとの授業、昼食など英語だけでなくニュージーランドやマオリの文化について深く学ぶことが出来ました。マオリの授業でとても印象に残っているのが遊びです。体を使ってやるゲームが多く、みんな楽しくマオリ語について学ぶことが出来たと思います。そして、行く前から知ってはいたのですが、ニュージーランドでは昼食の前にティータイムがあるということには驚きました。ティータイムや昼食はバディと取るのですが、色々と英語で話すことが出来ました。特技やアニメについて話したのですが、ニュージーランドは一人ひとり秀でた特技を持っているように感じました。また、鬼滅の刃やサンリオなどを知っていて、日本のものも外国で知られているんだと実感出来ました。学校全体を通して「こんにちは」や「ハイチュウください」など、日本語を使ってくれる生徒もいてびっくりしたのですが、みんなフレンドリーでやはり日本とは文化が違うんだと改めて思いました。

この派遣を通して私は当初の目的であったリスニング能力を高めることやニュージーランドの文化について学ぶということを達成することができたと思います。また、多くの人と関わり人見知りも少し改善した気がします。たくさんの方の協力により派遣を楽しむことができたと思うので、感謝してもしきれません。この経験をこれからの生活に活かしていきたいです。